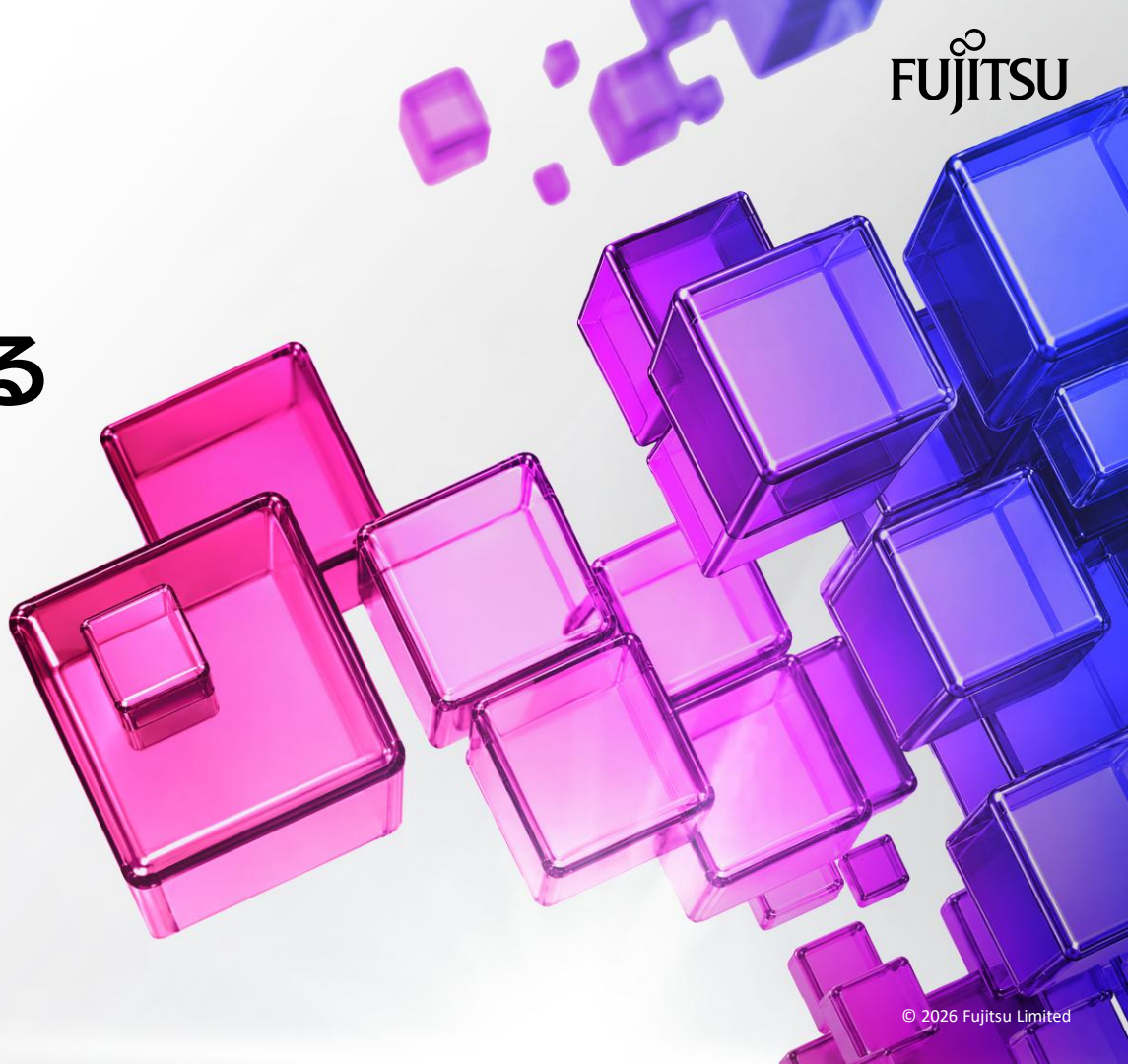


M-10

Fujitsu Experience Day 2026

FUJITSU

コストの壁を越える 経営変革を支える ファイナンス



モダナイゼーション・ファイナンス・サービス

お客様課題

- 初期費用の確保が難しい
- 現行運用費と開発費の二重負担が大きい
- システム利用期間と比べて償却期間が短く、P/L負担が大きい

提供機能

- 開発・構築から運用までの費用を月額化
- 本稼働後からの支払い設定が可能

特長/強み

- 初期費用平準化
- 二重払い回避
- 損益（P/L）インパクト最適化
- 業種・規模を問わない導入実績

モダナイゼーション・ ファイナンス・サービス

システム更改を進めたいが、コストの見通しが立たず意思決定に踏み切れない

検討段階



初期費用が高く
社内稟議のハードルが高い

移行段階



新旧システムの並行運用により
費用が重複

運用段階



利用予定期間より償却期間が
短く**P/L負担が大きい**

これからのIT投資に必要なのは「柔軟性」

柔軟なIT投資が、変化に対応できるシステムを支える！

変化に適応



常に最新



柔軟に変更可



経営・財務も最適化し、攻めのモダナイゼーションを実現

投資のあり方を最適化！ 費用を一括月額化し、本稼働後から支払い開始



検討段階

初期費用確保が難しい

キャッシュアウトの
平準化



移行段階

現行運用費と開発費の
二重支払いの負担が大きい

発生費用の
コントロール



運用段階

実態に対して却期間が短く、
P/L負担が大きい

損益(P/L)の
適正化

投資のあり方を最適化！ 費用を一括月額化し、本稼働後から支払い開始



検討段階

初期費用確保が難しい

キャッシュアウトの
平準化



キャッシュ
アウト
平準化

発生費用
コントロール

発生費用の
コントロール

P/L
インパクト
適正化



運用段階

実態に対して却期間が短く、
P/L負担が大きい

損益(P/L)の
適正化

投資のあり方を最適化！ 費用を一括月額化し、本稼働後から支払い開始



検討段階

初期費用確保が難しい



運用段階

実態に対して却期間が短く、
P/L負担が大きい

守りではなく、“攻め”のモダナイゼーション戦略①



初期費用を月額化し、投資余力を創出

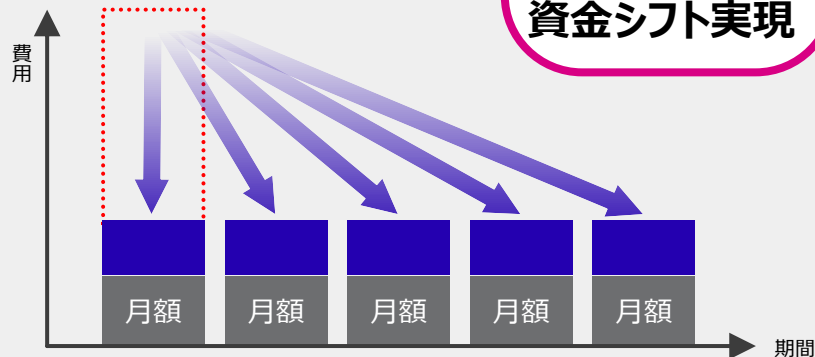
一括買取でのキャッシュアウト

モダナイゼーションに伴う初期費用は、基本的に**一括払い**が必須



モダナイゼーション・ファイナンス・サービスでのキャッシュアウト

高額な初期費用を**月額化（平準化）**し、キャッシュフロー悪化を防止



守りではなく、“攻め”のモダナイゼーション戦略②

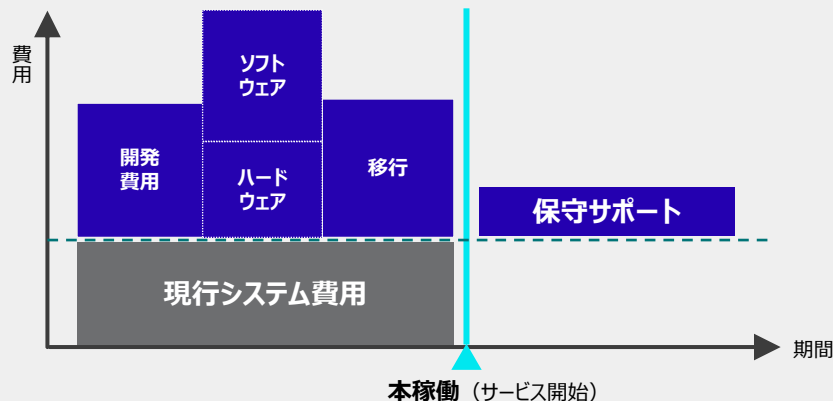


FUJITSU

二重支払いを排除し、キャッシュ負担を最適化

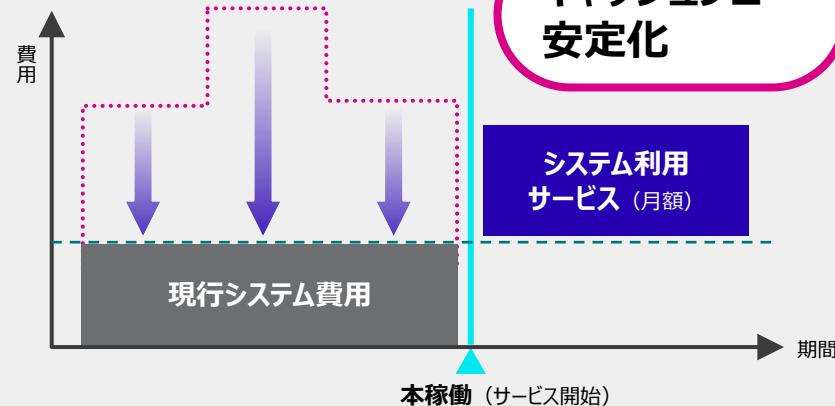
従来の費用支払い

工程ごとに検収・請求されるため、
現行運用費 + 新規開発費の**二重支払い**が発生



モダナイゼーション・ファイナンス・サービスでの費用支払い

支払い開始を**本稼働後**に設定し、
移行期間の二重支払いを回避



守りではなく、“攻め”のモダナイゼーション戦略③

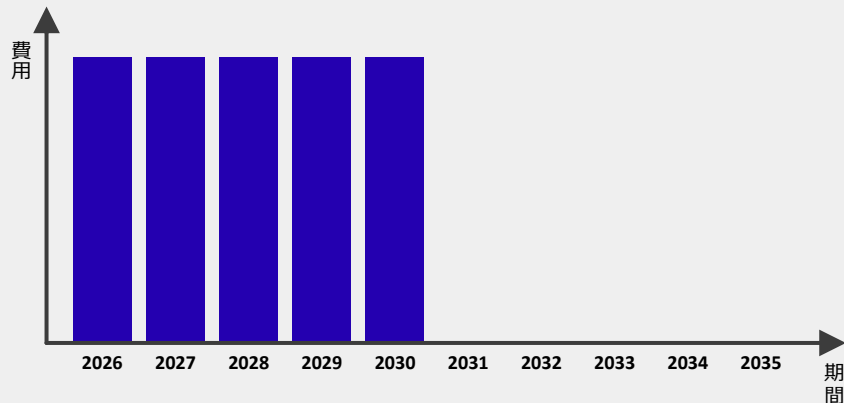


FUJITSU

利用期間に応じたコスト配分で、P/Lインパクトを抑え経営計画を最適化

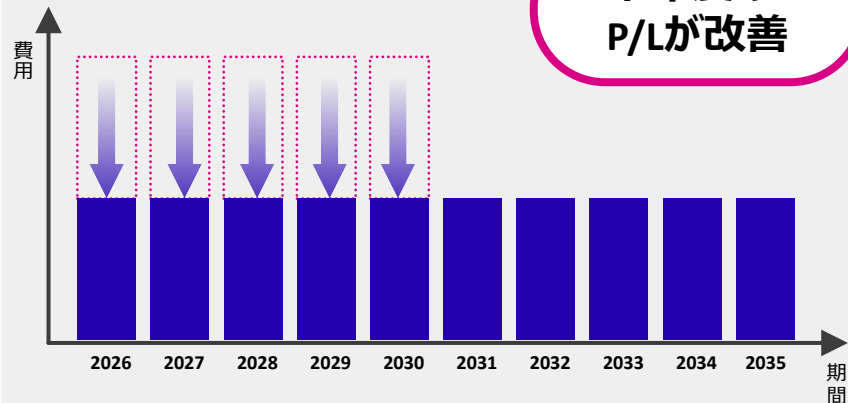
一括買取での費用（P/L）計上

大規模システムは自社資産化すると
5年償却となり、P/Lインパクトが大きい

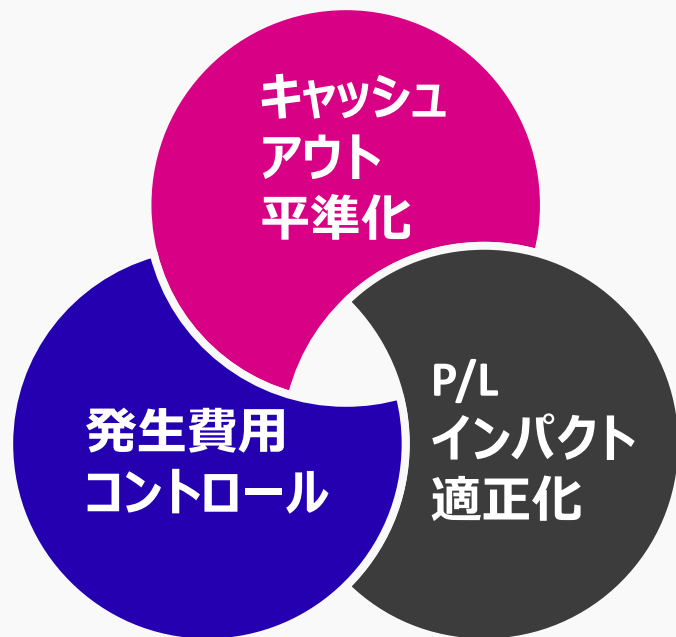


モダナイゼーション・ファイナンス・サービスでの費用（P/L）計上

利用期間に応じたサービス提供により、
ITコストを適切に配分



業種・規模を問わない導入実績と、コスト平準化・二重支払い回避が評価



お客様	金額（百万円）
金融A社様	6,100
流通B社様	1,800
産業C社様	600
流通D社様	500
流通E社様	400

モダナイゼーションに関するご相談・お問合せは
こちらにお願い致します

モダナイゼーションイベント事務局

・ e-mail : contact-fjpp-moder@cs.jp.fujitsu.com

Thank you

